

平成 22 年 9 月 24 日  
日興コーディアル証券株式会社

日興コーディアル証券 2010 年度秋季 部店長会議 渡邊英二(代表取締役社長)発言要旨

日興コーディアル証券株式会社は、三井住友フィナンシャルグループの一員となって、まもなく 1 年を迎える。この間、お客様にフルラインのサービスを提供する総合証券会社としての体制強化を進めるとともに、株式会社三井住友銀行(以下、SMBC)との協働ビジネスを展開。

本年 3 月に発表した中期経営計画の初年度にあたる 2010 年度の上期は、大変難しいマーケット環境であるが、リテール・ホールセール部門とも全社一丸となり業務に邁進し、計画に沿った実績を積み上げている。

下期も引き続き、総合証券会社としての体制構築ならびに SMBC との協働ビジネスの強化を着実に進め、リテール・ホールセール双方に優れた証券会社として、お客様に、より高い価値を提供する。

1. 総合証券会社としての体制の構築状況について

- ・ 海外を含むホールセールビジネスの体制強化を順次実施。
  - (1) 法人・機関投資家のお客様向けトレーディング業務の体制構築
    - プライマリーディーラー資格の取得
    - 機関投資家向け新エクイティ・トレーディング・システムの本格稼動
  - (2) リサーチ体制の整備～「リサーチの日興」を標榜
    - 調査本部の設置、株式調査部の新設
    - 主要業種のランキングアナリストの採用
  - (3) 海外拠点展開
    - ロンドン現地法人設立準備室設立に続き、ニューヨーク、香港についても準備中
    - 2010 年 10 月 1 日よりロンドンにおいて、英国 SMBC 日興キャピタル・マーケット会社による証券業務を開始予定
  
- ・ 新しい体制の定着に努め、必要となる体制の整備・構築を進めながら、案件の獲得や取引の成約を着実に積み上げていく。

2. SMBC との協働について

- ・ SMBC との協働における案件数・事業領域等は順調に拡大。
  - (1) 法人顧客紹介
    - 公益法人や中堅企業のお客様を中心とした債券の運用関係の取引が順調に推移
    - 引受、M&A、IPO 候補の紹介など、全国支店レベルでの連携も含め案件が着実に増加

(2) 個人のお客様に対する協働ビジネス強化のための施策

- SMBC、バークレイズ・バンク・ピーエルシーとのプライベート・バンキングにおける業務協働の開始(2010年6月29日開始)
  - SMBCフレンド証券株式会社におけるSMBCとの個人向け銀証協働事業を統合(2011年1月統合予定)
- ・リテール、ホールセール部門ともSMBCの各セクションと円滑な協働を行い、双方のお客様にとって価値のある成果に繋げていく。

以上